

2023 年 9 月 1 日

利 用 先 各 位

短 資 協 会
短資取引約定確認システム管理本部

インボイス制度対応に伴う利用料請求書の書式修正について

短資取引約定確認システムの運営につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、短資取引約定確認サービスの利用料請求書については、本年 10 月 1 日から開始されるインボイス制度において定められた適格請求書の記載要件を踏まえて、別添 1 のとおり修正することとし、「短資取引約定確認サービス利用要領」別表 4 の第 5 号書式を修正後の新書式に差替えることとしましたのでご連絡します。

なお、新書式は、次の利用料請求書発行から使用開始します。

また、今次利用要領修正に併せて、既に利用先様宛に通知しております、当サービスの「推奨利用環境」の記載内容についても別添 2 のとおり変更することとします。

—— 別添 1、別添 2 を反映した約確サービス利用要領は、短資協会ホームページの約確システム利用先向け情報から参照ください。

以 上

第 5 号書式 利用料請求書

(あて先)

_____御中

(請求日)

利 用 料 請 求 書

(短資協会)

日頃、当システムをご利用いただきましてありがとうございます。

ご請求額につきましては、本請求書記載の支払先銀行口座に支払期限までにお振込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、振込手数料は参加者様ご負担となります。また、払込取扱金融機関の払込金受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。

ご請求額 _____ 円

内 訳 :	基本料金	円	ご利用期間	年	月から
	従量料金	円		年	月まで
	消費税額等	円			

お支払期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日

お支払先銀行口座

口座番号 : _____
受取人名 : _____

【問合せ先】

短資協会 短資取引約定確認システム管理本部
TEL 03-3278-8900

(作成および記入方式)

1. この請求書は、短資協会がシステム利用先に対し、システム利用料の支払を請求する際、システム利用者の「利用先コード」ごとに作成する帳票です。
2. 作成は、本文Ⅴ. 3. (1)に定める時期に行うほか、随時システム利用者および支払期限を特定して行うことができるものとします。
3. 「(あて先)」には、窓空き封筒を使用したときにこれが見える位置に、システム利用者から届出を受けている本請求書送付先の所在地および社名・部署名を記入します。
4. 「(短資協会)」には、短資協会の名称および住所を記入します。
5. 「ご請求額」欄には、システムで計算した基本料金および従量料金の合計金額に消費税額等相当額を付加した金額を記入し、その下部に基本料金、従量料金および消費税額等別の内訳を記入します。
6. 「利用期間」欄の記入は、定時作成の場合は「前年10月から本年3月まで」または「本年4月から本年9月まで」とし、随時作成の場合にはその都度管理本部が指定する期間を記入するものとします。
7. 「お支払先銀行口座」欄には、管理本部が指定する振込先銀行名、同店舗名、預金種目、口座番号および受取人名を記入します。

変更後

第5号書式 利用料請求書

(あて先)

_____御中

(請求日)

利 用 料 請 求 書

(短資協会)

登録番号_____

日頃、当システムをご利用いただきましてありがとうございます。

ご請求額につきましては、本請求書記載の支払先銀行口座に支払期限までにお振込み下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、振込手数料は参加者様ご負担となります。また、払込取扱金融機関の払込金受領書をもって、領収書に代えさせていただきます。

ご請求額 _____ 円(税込み)

内訳 : 基本料金

円

ご利用期間

年 月から

従量料金

円

年 月まで

利用料合計(%対象)

円

消費税額等(%)

円

お支払期限 _____ 年 月 日

お支払先銀行口座

口座番号 : _____

受取人名 : _____

【問合せ先】

短資協会 短資取引約定確認システム管理本部

TEL 03-3278-8900

(作成および記入方式)

1. この請求書は、短資協会がシステム利用先に対し、システム利用料の支払を請求する際、システム利用者の「利用先コード」ごとに作成する帳票です。
2. 作成は、本文Ⅴ. 3. (1)に定める時期に行うほか、随時システム利用者および支払期限を特定して行うことができるものとします。
3. 「(あて先)」には、窓空き封筒を使用したときにこれが見える位置に、システム利用者から届出を受けている本請求書送付先の所在地および社名・部署名を記入します。
4. 「(短資協会)」には、短資協会の名称、住所および適格請求書発行事業者・登録番号を記入します。
5. 「ご請求額(税込み)」欄には、その下部のシステムで計算した「基本料金」と「従量料金」を合計した「利用料合計」に標準税率で算出した「消費税額等」を合計した金額を記入します。また、「利用料合計」と「消費税額等」の税率区分には、標準税率を記入します。
6. 「利用期間」欄の記入は、定時作成の場合は「前年10月から本年3月まで」または「本年4月から本年9月まで」とし、随時作成の場合にはその都度管理本部が指定する期間を記入するものとします。
7. 「お支払先銀行口座」欄には、管理本部が指定する振込先銀行名、同店舗名、預金種目、口座番号および受取人名を記入します。

現行

(推奨利用環境)

区分	環境要件等
Web端末のOS	Windows7またはWindows10
使用ブラウザ	IE11、Edge、Chrome の何れか
ネットワーク回線	インターネット接続回線
ウイルス対策	利用先で定めるウイルス対策ソフトを導入
その他	クライアント証明書の登録※

※ 約確サービスでは、正当な利用先からの接続であることを認証するため、約確センタから送付するクライアント証明書を予め利用する全てのWeb端末に登録する必要があります。

変更後

(推奨利用環境)

区分	環境要件等
Web端末のOS	Windows10
使用ブラウザ	IE11、Edge、Chrome の何れか
ネットワーク回線	インターネット接続回線
ウイルス対策	利用先で定めるウイルス対策ソフトを導入
その他	クライアント証明書の登録※

※ 約確サービスでは、正当な利用先からの接続であることを認証するため、約確センタから送付するクライアント証明書を予め利用するWeb端末のWindowsアカウント毎に登録する必要があります。